

ICT 機器を利用した日本の民謡の歌唱と鑑賞

教育学研究科 教育実践創成専攻 教科領域実践開発コース 中等教科教育分野 花輪大和

1. はじめに

筆者が過ごした中学校時代は、平成20年度版の学習指導要領が施行されていた。しかし、日本の民謡を学習することはなく、合唱曲を中心とした歌唱の授業が行われていた。日本の民謡を学習していないことから、執筆者は、日本の民謡の指導方法について不安があることが現状である。

現行学習指導要領の音楽科の改訂趣旨及び要点では、「我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくこと、生活や社会における音や音楽の働き、音楽文化についての関心や理解を深めていくことについては、更なる充実が求められるところである。」としている。

本研究では、筆者や、日本の民謡の指導方法について不安がある方のために、ICT機器を利用して授業を行うことに着目する。日本の民謡の独特な歌唱方法、鑑賞を通して日本の民謡のよさを味わえるために、どのように伝えていくかについての方法を検討する。

尚、本研究題目は「ICT機器の利用」と設定している。本研究では、子どもたちがICT機器を活用する場面がなく、教師がICT機器を利用して授業を行うため、「ICT機器の利用」と設定した。

2. 研究目的、研究動機

(1) 研究目的

日本の民謡の指導方法についての不安を、ICT機器を利用することで、不安を解消することができるか。筆者がオリジナル教材を開発し、不安を解消すると共に、子どもたちが日本の民謡のよさに気付くことができる授業

を実施することを目的とする。

(2) 研究動機

教育芸術社「中学生の音楽1」では、平成28年度から「ソーラン節」が歌唱教材として掲載された。執筆者は日本の民謡を学習していないが、ソーラン節は小学校時代に運動会で踊ったことがあると共に、子どもたちも運動会で踊る地域であったため、親しみを持って取り組むことができると感じた。ソーラン節だけでなく、日本の民謡は伝統音楽の一種である。現在、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっており、学校行事の中止だけでなく、様々な地域の伝統行事も中止になる事態が発生した。一方で、感染症の流行とともに、ICT機器の利用が急速に普及した。ICT機器を利用した日本の民謡をどのように教えることができるか、と考えたのが研究動機である。

3. 先行研究、仮説提示

(1) 先行研究

今井(2014)は「PCによって使用する『デジタル教材』としての音楽科教材は、英語、理科などの他教科と比べると少ないのが現状である。」と述べていることに対し、鈴木・廣富ら(2018)は、日本の民謡の学習において音楽デジタル教科書の有効さを示していた。視覚的に見やすい、歌い方が分かりやすいという利点があり、音楽科もデジタル教科書が普及していることが判明した。一方、デジタル教科書の課題も見られ、購入に金額がかかり、学校の予算に関わる問題もあることが分かった。

しかしながら、デジタル教科書だけでなく、ICT機器の利用の面からオリジナル教材を利用した日本の民謡の歌唱と鑑賞に関する先行

研究は、執筆者の知る限りでは見られない。

(2) 仮説提示

デジタル教科書だけに頼らず、オリジナル教材を作成することで、子どもたちが日本の民謡の特徴や良さ、歌い方を気づき、考え、実行でき、日本の民謡で学習したことが今後の生活に役立っていくという仮説を立て、それを検証する。

4. 研究の方法

(1) Google for Education から Google スライドを利用して、オリジナル教材を作成、授業を行い、子どもたちのワークシートから学びの様子を読み取り、指導が適切であるか明らかにする。

(2) 事後アンケートを行い、楽しく取り組めることが出来たか、日本の民謡のよさに気付いたか、日本の民謡は今後の生活に役立つのかを検証する。

5. 授業実践について

実際に行った「ICT機器を利用した日本の民謡の歌唱と鑑賞」について以下に概要を示す。

(1) 授業実践の概要

- ①対象校 山梨県内の公立中学校
- ②期間 2022年11月
- ③対象 第1学年4クラス151人
- ④教材 『教育芸術社「中学生の音楽1」』
日本の民謡『ソーラン節』：北海道民謡
『南部牛追唄』：岩手民謡『谷茶前』：沖縄民謡
- ⑤題材名

「日本の民謡の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう」

本教材で扱う『ソーラン節』は、ニシンを網で運搬船に引き上げる際に歌われていた仕事歌であり、「ソーラン」という掛け声が特徴的である。『南部牛追唄』は、険しい山道を行き来するとき、昔は牛の背中に荷物を載せて運んでおり、その道中などで牛方の歌っていた歌がもたくなって生まれた仕事歌である。『谷茶前』は、魚を捕る青年たちとそれを売りに行く娘たちの、のどかな漁村の暮らしがコミカルに描かれ

ている踊り歌である。3曲それぞれの地域によって音楽の雰囲気も違うため、日本の民謡の音楽の特徴を捉えやすく、そのよさや面白さを感じ取りやすい教材である。

本題材では、日本の民謡について、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりや、声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解し、実際に『ソーラン節』を歌唱したり、『南部牛追唄』や『谷茶前』を鑑賞したりすることにより、日本の伝統音楽についての関心を深め、その魅力やよさを味わうとともに、自分なりに生活や社会における音楽の意味や役割について考えることができることを目標としている。

(2) 授業計画

第1時：声や音楽の特徴を生かしてソーラン節を歌う。

第2時：民謡の特徴を生かした表現方法を考える。

第3時：日本の民謡の美しさについて、節回し、リズム、音階、コブシ、囃子詞に触れ、生活や社会における音楽の意味や役割について考えることができる。

(3) オリジナル教材について

オリジナル教材では、教科書やデジタル教科書を基に作成した。デジタル教科書にはない動画付き音源はYouTubeから使用した。



図1 1時間目のスライド

図1は1時間目のスライドである。教科書やデジタル教科書に掲載されている概要や、時代背景が分かる写真を利用し、スライドを作成し

た。実習校の先生が、コブシの発声方法やソーラン節の参考にと、実習校市内で作成したDVDを提供してくださったことから、その動画をパソコンに取り込み、スライドに挿入すると、再生時間の選択が出来、効率よく授業を行うことができた。尚、参考動画の女性は、山梨県在住長唄奏者の小林百合さんである。2時間目では、コブシの歌い方の参考動画を踏まえたスライドを作成した。



図2 3時間目のスライド

図2は3時間目のスライドである。デジタル教科書では図3のように南部牛追唄等の演奏動画が音源のみしかなく、子どもたちにも歌っている、踊っている場面を見てほしいと思い、YouTubeから動画をスライドに挿入した。

日本の民謡



図3 デジタル教科書



図4 Googleスライド再生時間選択画面

Googleスライドの最大の魅力は、YouTubeの動画を挿入でき、再生時間の選択、広告に邪

魔されず動画を再生できることと考える。リポート再生もでき、効率よく授業を行うことができたように感じた。

(4) ワークシートについて

ワークシートは、副教材のワークシートや、教科書の内容を基に作成した。オリジナル教材とリンクすることで、授業が行いやすくなった。図5、6と赤枠で囲っている部分は、後ほど分析・考察を行う設問のため、予め赤枠で囲っている。

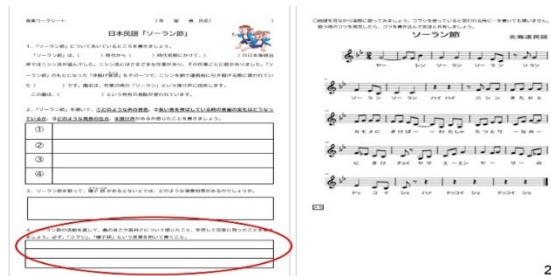


図5 ソーラン節 ワークシート

教科書にも掲載されているソーラン節の概要を説明し、ソーラン節を聴き、声の音色、発音、掛け声はどのようになっているのかを知覚・感受する活動を行い、囃子詞の有無で演奏効果はどうなるかといった内容を取り上げた。図5の右側に楽譜が載せられている。これは、子どもたちが参考動画の音程に合わせてられるよう、筆者が参考動画を聴き取り、楽譜を書き起こした。教科書では、小林多喜二さんが採譜した、音程を横軸であらわす楽譜となっており、音程感覚が掴みづらいと思い、このように対応した。教育芸術社は小林さんの採譜した楽譜が、教育出版社では、筆者が書き起こした楽譜のように五線譜で表されている。

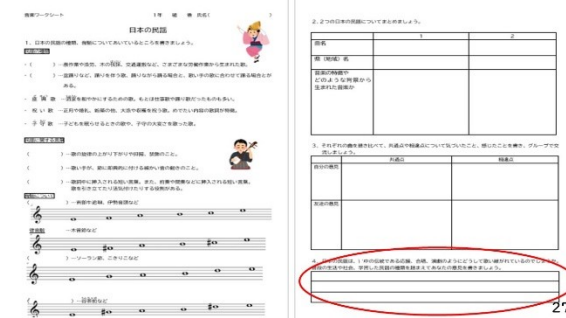


図6 日本の民謡 ワークシート

また、民謡の種類、民謡で使われる言葉、音階についても扱っている。音階については、現在のJ-POPでも使われているということ伝え、興味を持たせた。実際、都節音階が使われているきゃりーぱみゅぱみゅの「にんじやりばんばん」の旋律を弾き、その後都節音階を弾くと、同じ音が聴こえたと反応してくれる子どもがいた。伝統の継承につながるよう、工夫を行った。

スライド、ワークシートは、本稿の最終ページにリンクを掲載するので、そちらをご覧ください。

(5) 子どもたちの授業の様子

1時間目の歌唱活動では、囃子詞を歌う場合と歌わない場合ではどのような違いがあるか、実際に歌いながら考える活動を行った。まずは参考動画を聴き、囃子詞を歌っている場面を流した。その次に再生時間変更機能を使用し、囃子詞を発しない手前で再生を止め、変化を比べてみた。囃子詞がないと物足りないという意見が飛び交い、その後実際に歌い、囃子詞は意味の通り盛り上げる効果があるということが分かる活動となった。

2時間目は、体調不良者が増加傾向にあったことから、歌唱活動を一部取りやめ、日本の民謡の特徴を生かしたコブシの表現方法を考える活動を行った。参考動画の中にコブシの発声方法が収録されており、小さい声でコブシを歌った。コブシが歌われている箇所を発見し、なぜコブシが表現されているか、歌詞の意味や漁師の気持ちになり、表現方法を考えた。場所は海、波に揺れている、ニシンを釣りあげる時にソーランと言えば元気が出るという子どもたちなりの考えが浮かび出た。

3時間目は南部牛追唄と谷茶前の比較聴取を行った。南部牛追唄は、拍がない特徴的な曲であり、拍が一定と答えてくれた子どもがいた。動画を見ながら実際に手拍子をしてみると、どのタイミングで拍を打てばいいかわからず困っている様子を伺えた。一方、谷茶前を流して拍を打ってみると、一定に叩ける！と気づき、日本の民謡には、拍のある曲、ない曲が分かっ

た。曲のできた背景を紹介していたため、当時の人の辛さが分かるという意見を聞くことができた。

6. 分析・考察

(1) ワークシート記述からの分析・考察

ワークシート記述からの分析である。ソーラン節、日本の民謡から、学習感想や、日本の民謡はなぜ受け継がれているか、子どもたちの学びの様子を分析する。

【ソーラン節の活動を通して、曲の良さや面白さについて感じたこと、学習して印象に残ったことを書きましょう。必ず、「コブシ」、「囃子詞」という言葉を用いて書くこと。】

ソーラン節を学習しての感想
113件の回答

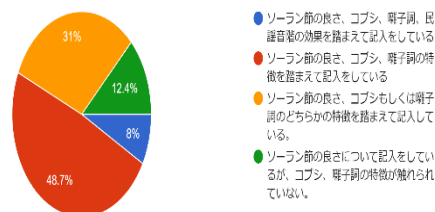


図7 ソーラン節 学習状況

子どもたちが、どこまで学習理解を深めたかを確認するために、筆者が独自に子どもたちの学びの状況を4項目に設定し、分析を行った。

【ワークシート記述の状況 全113人】

○ソーラン節の良さ、コブシ、囃子詞、民謡音階の効果を踏まえて記入をしている…9人

○ソーラン節の良さ、コブシ、囃子詞の特徴を踏まえて記入をしている…55人

○ソーラン節の良さ、コブシもしくは囃子詞のどちらかの特徴を踏まえて記入している…35人

○ソーラン節の良さについて記入をしているが、コブシ、囃子詞の特徴が触れられていない…14人

【子どもたちの記述】

- ・囃子詞があるのとないのでは、曲の印象が全然違って、囃子詞があるだけで、全体が明るくなるのが面白かった。コブシを使うことで、曲が一層深くなった気がして、不思議に思った。曲が進むにつれて、コブシが出る頻度が高くなっているのか、船がどんどん海へ進むかんじがして良いと思った。
- ・日本の民謡では、コブシがあることによって、魅力もでるし、面白さも出ます。コブシは大切な所で使われているのが印象に残りました。囃子詞があることによって、曲の面白さが増し、曲の魅力も増して、この2つはとても大切だなと思いました。
- ・ソーラン節は、実際の漁をするときに使われているのが凄いなと思ったし、コブシにアクセントをつけてはっきり発音したり、囃子詞の掛け声で盛り上げて漁をしたりしていたのが面白いと思った。日本独特の曲調が印象に残った。
- ・囃子頃でより楽しく歌うことができた。他にもコブシを使うことで昔ながらの雰囲気を感じることができてよかった。これに似た音楽はまだあるから調べてみたいと思った。
- ・ソーラン節の学習を通して、囃子詞を入れると、とても盛り上がりがあり、歌にリズム感が生まれる。コブシを使うと当時の人の気持ちがわかったり、今どのような場面かがよくわかった。コブシや囃子詞はソーラン節を歌うのにかかせないものだと感じた。
- ・ソーラン節は、「コブシ」も「囃子詞」もついていないと、何だか味気が無かったけれど、「囃子詞」を入れたことで歌が盛り上がるし、頑張って漁をしている感じがありました。「コブシ」をいれると大事なところや波に揺られている感じがありました。
- ・コブシを使うことで漁師さんの力強さを表現したり、波を表現していてすごいと思いました。囃子詞を使うと曲が盛り上がるので良いと思いました。

【日本の民謡は、○中の伝統である応援、合唱、演劇のようにどうして歌い継がれているのでしょうか。普段の生活や社会、学習した民謡の種類を踏まえてあなたの意見を書きましょう。】

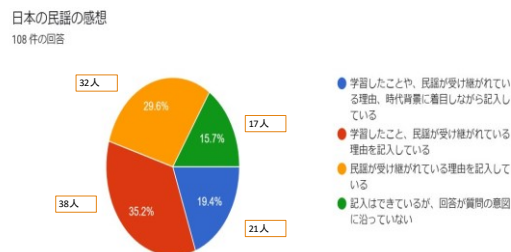


図8 日本の民謡 学習状況

【ワークシート記述の状況 全108人】

- 学習したことや、民謡が受け継がれている理由、時代背景に着目しながら記入している…21人
- 学習したこと、民謡が受け継がれている理由を記入している…38人
- 民謡が受け継がれている理由を記入している…32人
- 記入はできているが、回答が質問の意図に沿っていない…17人

【子どもたちの記述】

- ・その時代のその歌を作った人の思いが込められたものだから、大切にされたのだと思う。また、歌い継ぐことで、その時の苦労を忘れずに、さらに伸ばし、高めていくために、歌い継がれていると思った。
- ・民謡は人々の生活から生まれて、その人々の暮らしを支えてきた歌である。また、人々の感情が表されていて、たくさんの思いが込められていたり、なくてはならない存在だったため、歌い継がれてきたと思う。
- ・昔の様子を伝えている歌なのと、音階の美しさを知ることのできる曲だから、現在まで伝わり、J-POPなどに使われているのだと思いました。
- ・現代で失われたり、少なくなったりした昔の文化が宿る歌として残し、民謡として口伝でその文化あったこと現代の人たちに伝えるため

- ・昔の良さが歌に表されていて、今に受け継いでほしいから。今も伝統となって歌い継がれていると思う。そして歌には思いとかもあるから、頑張ってきたんだよと今に伝えたいとおもったから。
- ・歌い継いでいけば、それが日本の文化・特徴になり、日本らしさをずっと保てるから。また、民謡を保っていけば昔の日本の様子を今からの人の記憶にも残ることができるから。
- ・親が子守唄などを子供に聴かせるように上の世代の人がずっと私たちに受け継いでくれたから。また、日本独自の文化なので、馴染みやすく、歌いやすいので、今もなお受け継がれてきたのだと思う。

ワークシートは提出をした人全員が、記述をしていた。考察として、記述は、子どもたちが書きやすくなるよう、学習したコブシ、囃子詞について記述をすることで、書きやすくなったのではないかと考える。授業の内容を踏まえた感想・意見、歌ってみた感想、聴いた感想を子どもたちなりの言葉で記述をすることができていた。なぜ日本の民謡が受け継がれているかの質問は、筆者が考えた。実習校は伝統行事を大切にしており、伝統を受け継ぐことの意味を、日本の民謡から考えてほしいという願いを込め、この質問を考えた。難しい質問の中、授業で学習したことを踏まえ、当時の人の生活、民謡の核となる口伝えを踏まえて回答してくれた。

(2) 事後アンケートからの分析・考察

事後アンケートからの分析である。アンケートは、配属クラスの子どもたちにご協力を頂き、33人から回答を得ることができた。アンケート内容は以下の5つの項目である。

【Q1.「日本の民謡」の授業は楽しかったですか？】

Q1.「日本の民謡」の授業は楽しかったですか？
33件の回答

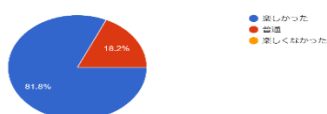


図9 質問1回答結果

- ・楽しかった…27人
- ・普通…6人
- ・楽しくなかった…0名

【Q2-1.授業で使ったスライドは、わかりやすかったですか？】

Q2-1.授業で使ったスライドは、わかりやすかったですか？
33件の回答

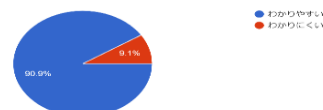


図10 質問2回答結果

- ・わかりやすい…30人
- ・わかりにくい…3人

【わかりにくいと回答した子どもの意見】

- ・字が小さくて、席が遠くて目が悪い人にとってはわかりにくかったと思います。でも、図や写真があつて、わかりやすい部分もありました。
- ・文字が多かったり、字が小さかった。
- ・文字のいろが少し見えない。

【Q3.スライドや使用した動画から、「日本の民謡」の特徴や良さ、歌い方について新たな気づきや発見を得ることは出来ましたか？】

Q3.スライドや使用した動画から、「日本の民謡...」で新たな気づきや発見を得ることは出来ましたか？
33件の回答

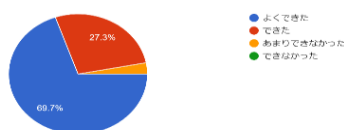


図11 質問3回答結果

- ・よくできた…23人
- ・できた…9人
- ・あまりできなかった…1人
- ・できなかった…0人

【Q4-1.「日本の民謡」で学習したことは、今後の生活に役立つと思いますか？】

Q4-1.「日本の民謡」で学習したことは、今後の生活に役立つと思いますか？
33件の回答

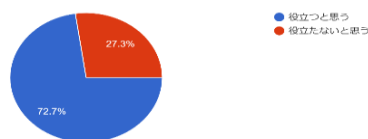


図12 質問4回答結果

- ・役立つと思う…24人
- ・役立たないと思う…9人

【役立つと思うと回答した人の意見】

- ・生活の中で音楽や歌を聞いたときに、民謡の音階などを利用しているとわかったらもっと音楽を楽しむことができると思うから。
- ・保護すべき文化を自分たちが知ることで消えない可能性を高くできた。
- ・日本の民謡を聴いたことによって祭りなどで聴いたら親近感がわくから。

【役立たないと思うと回答した人の意見】

- ・日常生活に民謡はあまり使わない、関係ないと思ったから。
- ・物知りに人にしかねれないと思う。
- ・日本の民謡を使うところに将来就こうと思っていないから。

【Q5-1.授業で使うスライドはクラスルームにアップしてほしいですか？】

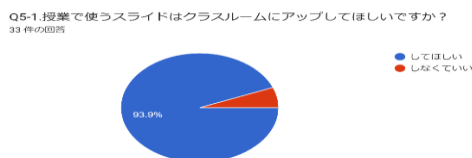


図 13 質問 5 回答結果

- ・してほしい…31人
- ・しなくていい…2人

【してほしいと回答した人の意見】

- ・クラスルームにアップしてもらうことで、いつでも学習した内容を思い出すことができるから。
- ・してもらったほうが、授業もスムーズに進むから。
- ・気軽にスライドが見れるし、3年後とかにまた振り返りとかもするかもなのでしてほしいです。

【しなくていいと回答した人の意見】

- ・モニターだけで分かるから。
- ・見ないから。

事後アンケートからの考察として、課題点が見えた考察を行った。まずは、スライドの見えづらさについてである。【Q5-1.授業で使うスライドはクラスルームにアップしてほしいですか？】という質問に、ほぼ全員がしてほしいという回答があったことから、スライドの配布を行うことで、より一層子どもたちの学びの充実につながるのではないかと考える。また、【Q4-1.「日本の民謡」で学習したことは今後の生活に役立つと思いますか？】については、普段の生活を想定して、何気なく使っている掛け声が実は囃子詞であるということを授業内で伝えると、活気づけるためにも学習したことが生かされるのではないかと推察する。

7. 研究のまとめ

(1) 研究の成果

研究の方法でも示した、2つの検証について、オリジナル教材を作成し、授業を行うことで、指導に対する自信がつくと共に、筆者自身も、日本の民謡について知ることができ、不安を解消することができた。また、ワークシートや事後アンケートから、子どもたちが日本の民謡に楽しく取り組むことが出来たことが分かり、楽しく取り組めただけでなく、日本の民謡を受け継いでいく、身近なものに感じるといった考えを持つことができた。

ソーラン節は聴き馴染みのある日本の民謡であるが、それ以外の日本の民謡は聴き馴染みがないため、子どもたちは新鮮な気持ちで授業に臨んでいた。オリジナル教材から新たな発見、子どもたちなりの曲の情景を教師と共にみつけ、一緒に音楽を学んでいく姿勢が身につけていくように感じた。故に、オリジナル教材の作成は有効であり、歌唱や鑑賞の授業でも活かせると考えられる。

筆者は実習終了後も継続して、実習校にて教育ボランティアとして授業支援を行っている。箏の授業の際、都節音階が登場し、日本の民謡で学習した音階だ、と反応してくれた子どもたちの姿が見ることが出来た。日本の民謡で学習したことが生かされ、他の日本の伝統音楽の授

業にもつながることが分かった。

(2)課題

研究授業中に、歌唱活動が一部取りやめとなってしまうため、当初予定していた活動ができなくなってしまった。本来であれば、Garagebandを用いて、グループ活動でコブシの表現方法を考え、実際に考えた表現方法を録音し、自分たちのソーラン節を歌い上げる活動を行う予定であった。新型コロナウイルス感染症の制限が緩和されることを願い、グループ活動を行えるようにしたい。

日本の民謡だけでなく、伝統音楽は、歌舞伎や能といった学習もあるので、この研究を糧に、ICTを「利用」ではなく「活用」しながら、子どもたちの興味を引き出せるよう、今後も研鑽していく所存である。

8. おわりに

本研究に協力してくださった実習校の生徒、授業実施にあたり、ご指導ご助言を賜りました実習校の先生、指導教官の先生に感謝の意を込め、本稿の結びとする。

9. 参考・引用文献，スライドリンク等

(1) 参考・引用文献

- ・今井康人（2014）「デジタル教科書の現状と今後—音楽科のデジタル教材活用を中心に」日本音楽教育学会『音楽教育実践ジャーナル』vol.11 no.2 pp.14-21
- ・小池順子（2017）「ICTを活用した音楽科の指導法の問題」千葉経済論叢 第75号 p.28
- ・鈴木慎一郎・廣富恵美子（2018）「中学校における音楽デジタル教科書を活用した日本の民謡の指導法開発・ソーラン節を通して」地域学論集（島根大学地域学部紀要）第14巻 第2号 pp.134-136
- ・教育芸術社 「中学生の音楽1」（令和3年度版）
- ・教育芸術社 「中学生の音楽1」（令和3年度版） デジタル教科書 指導者用
- ・教育芸術社 「中学生の音楽1」（平成28年度版）

- ・教育芸術社 「中学生の音楽1」（平成26年度版）
- ・教育芸術社 「中学生の音楽1」（平成24年度版）
- ・教育芸術社 「中学生の音楽1」（平成14年度版）
- ・教育出版社 「中学音楽1 音楽のおくりもの」（令和3年度版）
- ・教育出版社 「中学音楽1 音楽のおくりもの」（平成28年度版）
- ・教育出版社 「中学音楽1 音楽のおくりもの」（平成26年度版）
- ・教育出版社 「中学音楽1 音楽のおくりもの」（平成14年度版）
- ・文部科学省、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」平成29年 p.6
- ・文部科学省、「中学校学習指導要領（平成20年告示）解説 音楽編」平成20年
- ・文部科学省、「中学校学習指導要領（平成10年告示）解説 音楽編」平成10年
- ・文部科学省、「中学校学習指導要領（昭和40年告示）解説 音楽編」昭和40年

(2) スライド・ワークシートリンク

- ・第1回スライド <https://onl.bz/QQaiwDx>
- ・第2回スライド <https://onl.bz/JS6Ds8u>
- ・第3回スライド <https://onl.bz/vB7VmYL>
- ・ワークシート <https://onl.bz/C9M938a>

(3) 使用動画リンク

- ・南部牛追唄 <https://onl.bz/Z6iNG5M>
- ・谷茶前 <https://onl.bz/aCV1XqX>